

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7851 URL https://www.kc-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者兼総務部長 (氏名) 梶山 伸夫 (TEL) 06-6222-7474
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,297	△5.2	17	△44.6	31	△54.8	△25	—
27年3月期第3四半期	2,422	11.7	32	—	70	—	59	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	△5.30		—					
27年3月期第3四半期	12.40		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,197	3,379	80.5
27年3月期	4,461	3,457	77.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,379百万円 27年3月期 3,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,080	3.0	43	10.9	63	23.7	2	24.1	0.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	5,160,000株	27年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	429,110株	27年3月期	429,053株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	4,730,916株	27年3月期3Q	4,760,637株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、中国を起点として金融資本市場にも不安定な動きがみられましたが、堅調な国内需要、原油価格下落、そして円高修正という良好な経営環境を背景に緩やかな回復が続きました。

ビジネスフォーム業界におきましては、電子化などによる帳票の総需要の減少や競争激化による価格低下に加え、原材料の値上がり等の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、営業部門におきましては、BPO、情報処理案件獲得に向けた提案営業の推進、金融、通販業界を中心とした新規先の開拓、既存先への新部署の開拓、減少ユーザーの受注の回復に努めました。

生産部門におきましては、品質、生産性向上による利益確保をめざすとともに、外注案件の内製化に努めました。また、原材料の値上がりを踏まえた原材料使用高の低減や物流コストの見直し等にも努めました。

このような状況の中、11月に営業部門の不正取引が発覚したことにより、第三者委員会を設置し、調査を行った結果、判明した不適切な売上等の修正を行いました。

その結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高は2,297百万円（前年同期は2,422百万円）、経常利益は31百万円（前年同期は70百万円）、四半期純損失25百万円（前年同期は59百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

企業のコスト見直しによる需要の減少、価格競争激化の影響により、売上高は前年同期と比べ20百万円減少の1,547百万円（前年同期は1,568百万円）となりました。セグメント利益は244百万円の利益（前年同期は202百万円）となりました。

② 情報処理事業

幅広く新規案件獲得等に向けた営業活動を行いました。既存取引先の需要減の影響もあり、売上高は前年同期と比べ104百万円減少の749百万円（前年同期は854百万円）となりました。セグメント利益は38百万円の利益（前年同期は79百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末と比べ70百万円減少し、2,450百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が43百万円、「商品及び製品」が9百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が132百万円減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ193百万円減少し、1,746百万円となりました。これは、「投資その他の資産」に含まれる「保険積立金」が16百万円増加し、「有形固定資産」並びに「無形固定資産」が減価償却等の影響により「有形固定資産」が94百万円、「無形固定資産」が9百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ151百万円減少し、678百万円となりました。これは主に「買掛金」が35百万円、「短期借入金」が70百万円、「その他」に含まれる「未払消費税」が41百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ34百万円減少し、138百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「リース債務」が35百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ78百万円減少し、3,379百万円となりました。これは「その他有価証券評価差額金」が5百万円、「利益剰余金」が72百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績見通しにつきましては、売上高3,080百万円、営業利益は43百万円、経常利益は63百万円当期純利益2百万円を見込んでおります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、平成28年2月12日公表の当社「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ(非連結)」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,949,766	1,817,197
受取手形及び売掛金	474,989	518,092
商品及び製品	32,030	42,022
仕掛品	9,209	10,552
原材料及び貯蔵品	21,551	27,118
その他	33,985	35,933
貸倒引当金	△127	△52
流動資産合計	2,521,405	2,450,864
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	350,067	330,427
土地	523,057	523,057
その他(純額)	331,439	256,880
有形固定資産合計	1,204,564	1,110,365
無形固定資産	34,593	24,953
投資その他の資産	700,459	610,844
固定資産合計	1,939,617	1,746,163
資産合計	4,461,022	4,197,027
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,553	126,596
短期借入金	406,640	336,640
未払法人税等	19,570	1,090
賞与引当金	40,786	16,637
その他	200,977	197,838
流動負債合計	830,527	678,801
固定負債		
長期借入金	6,720	1,740
退職給付引当金	52,180	52,113
役員退職慰労引当金	30,963	39,577
その他	82,906	45,127
固定負債合計	172,769	138,558
負債合計	1,003,297	817,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,122,678	1,050,314
自己株式	△105,317	△105,338
株主資本合計	3,416,667	3,344,280
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,057	35,386
評価・換算差額等合計	41,057	35,386
純資産合計	3,457,725	3,379,667
負債純資産合計	4,461,022	4,197,027

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,422,647	2,297,298
売上原価	1,747,989	1,667,430
売上総利益	674,657	629,867
販売費及び一般管理費	642,195	611,896
営業利益	32,461	17,971
営業外収益		
受取利息	639	1,173
受取配当金	2,403	2,725
助成金収入	12,128	-
保険差益	15,419	-
作業くず売却益	2,934	2,855
為替差益	239	22
循環取引等差益	7,180	8,250
その他	4,888	4,437
営業外収益合計	45,833	19,463
営業外費用		
支払利息	6,989	5,095
その他	752	471
営業外費用合計	7,741	5,567
経常利益	70,553	31,868
特別利益		
固定資産売却益	61	-
特別利益合計	61	-
特別損失		
固定資産除却損	-	78
投資有価証券評価損	-	1,752
過年度決算訂正関連費用	-	47,951
特別損失合計	-	49,782
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	70,615	△17,914
法人税、住民税及び事業税	11,593	7,140
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	11,593	7,140
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,021	△25,055

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,568,271	854,375	2,422,647	—	2,422,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,568,271	854,375	2,422,647	—	2,422,647
セグメント利益又は損失(△)	202,101	79,073	281,175	△248,713	32,461

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,547,612	749,685	2,297,298	—	2,297,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,547,612	749,685	2,297,298	—	2,297,298
セグメント利益又は損失(△)	244,665	38,833	283,498	△265,526	17,971

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。